学校と 家庭と 地域社会の 社会教育情報誌





No. 58 2025. 10. 22 秋田県教育庁生涯学習課 中央地区担当

中央地区社会教育情報誌 「つなぐ / No.58号をお届けします。

今年の酷暑もようやく過ぎ去り、秋らしい季節を迎えることができました。

本58号からは、県教育庁生涯学習課の中央地区における取組と中央地区9市町村の今年度重点事項と して取り組んだ事業等について紹介していきます。

今回は、生涯学習課・井川町・五城目町の取組を紹介します。

#### 生涯学習課

学校·家庭·地域連携総合推進事業 「第2回地域学校協働活動推進員·地域連携担当教職員等研修会」

8月1日、多くの市町村関係職員、教職員、地域住民、県関係職員の方々が出席し、生涯学習センターを会場に中央地区での地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会を「地域と学校の連携・協働を担うキーパーソンとしての役割~様々な校種や地域の垣根を越えて~」というテーマで開催しました。

3名の登壇者(県内中央地区小・中学校から由利小学校の鈴木教頭、県外高等学校から栃木県立益子芳星高等学校の前田地域連携教員、県外特別支援学校から神奈川県立支援学校の武智地域学校協働活動推進員)をお招きし、県生涯学習課の川田社会教育主事がファシリテーターとなってトークセッションを行いました。

四つのトークテーマ(写真を使った特徴的な取組の紹介、それぞれの立場で日頃心がけていること、それぞれがイメージする連携・協働、参加者へのメッセージ)や成功体験だけでなくあえて失敗談を紹介していただくなどして、あっという間に時間が過ぎました。

参加者からは「先進校、先進地域のお話を伺うことができました。すぐの実施は無理だと思うのですが、活動のヒントになりました。」「無理をせずにできること、楽しくできること、お互いが支え合うなど、改めて地域連携について考える機会となりました。」といった意見が聞かれました。

その後、「キーパーソンとしての自分にできること」をテーマに グループ協議を行いました。終了後のアンケート用紙には「席を替 えてたくさんの人、意見にふれることができてとてもいい経験にな りました。」「いろいろな立場の人の意見が聞けて、本当に勉強にな りました。できる、小さなことからやってみようと思いました。」 などの記述があり、充実した研修会となりました。



トークセッションの様子



参加者の様子



グループ協議の様子

# 井川町

### 育成会子ども夏まつり ~夏休みサマーフェスタ~

夏休みに入った子どもたちに様々な体験を通して楽しんでもらう「育成会子ども夏まつり~夏休みサマーフェスタ~」を7月27日(日)に井川町公民館で開催しました。

子どもたちが楽しみながら社会教育に触れてもらうことをねらいとして、当日は公民館全体をお祭り会場のように、主催である子ども会育成連絡協議会が中心となって各コーナーを運営しました。

1階ではゲームコーナーと題し、射的、輪投げなど、さながら縁日のようなものから、ツイスターゲームや e スポーツ体験など、頭と体を使って子どもたちに楽しんでもらうコーナーを設けました。



絵画コーナーの様子

2階では工作コーナーと題し、地域学校協働活動推進員と一緒にスノードームの工作や、生涯学習奨励員が先生となり、茶道、絵画、俳句の体験を行いました。

どのコーナーでも子どもたちが目を輝かせながら、はつらつと楽しんで 体験してくれたことが印象的でした。

継続して事業を実施していることから地域での認知度も高まり、新たに協力していだたける団体が増えていること、そして多世代で交流する場を

創出できていることから、今年度の重点目標である「地域のつながり」をより強固にすることができた事業になったと感じています。

## 五城目町

#### 矢田津世子遺稿集「みぞれ」・絵本・ 紙芝居完成報告披露会

令和7年6月22日(日)に五城館で、五城目町出身の女流作家矢田津世子の遺稿集「みぞれ」・本人執筆の童話「賢いめだかの兄弟」を原作とした絵本・紙芝居の完成報告・披露会を開催しました。 来場した町民ら30名以上が、新たな津世子作品に触れました。

2年ほど前、「直筆原稿」が五城目町に届きました。その原稿は、津世子と生前親交のあった近藤富枝さんの親族から、「後世に残してほしい」と送られたものでした。ここから津世子の没後80年となる令和6年度に、記念事業がスタートし、有識者の協力をいただきながら、遺稿集、絵本・紙芝居を完成させることができました。

遺稿集「みぞれ」を監修した秋田県立大学 副学長 高橋秀晴さんは、未発表原稿の確認作業に難航しながらも、大変貴重な機会をいただけたとのことでした。また、絵本・紙芝居を制作した合同会社みちひらきの小熊美奈子さんは、原文を紙芝居の形に収めていく作業にとても苦労されたとのことでした。読み聞かせボランティア「五城目おはなし会」による紙芝居の朗読では、参加者が目と耳で矢田作品の演出や意外な展開を味わっていました。



報告会の様子

遺稿集「みぞれ」・「賢いめだかの兄弟」の絵本・紙芝居は、地域図書室わ一くるで借りることができます。遺稿集「みぞれ」は町総合交流センター五城館で購入できます。ぜひご覧ください。